

大阪・西成 准看護師遺棄事件を分析

大阪市西成区の准看護師、岡田里香さん(29)の遺体が東京で見つかり、元同級生で日系ブラジル人の女(29)が中国当局に身柄を拘束された事件は、さまざまな問題が複雑に絡み合っている。本筋である殺人・死体遺棄に加えて、旅券取得や国家間の犯罪人引き渡し、日系人の受け入れ問題などだ。自民党の片山さつき参院議員が分析した。まず、旅券取得について。

「日系ブラジル人らの広域窃盗団の構成員」との報道もある容疑者は、在留資格の期限が切れており、不法滞在の状態だ

複雑に絡む外国人政策

「性善説ではダメ」

自民党・片山さつき氏



片山氏は、大阪・准看護師遺棄事件に絡む複雑な問題を分析する

った。そこで幼なじみの岡田さんが狙われ、岡田さん名義の旅券を取得し、中国に出国した。

これは、外国人が、日本人の身分や戸籍を乗っ取る「背乗り(はいのり)」という犯罪で、北朝鮮による日本人拉致事

がある。しかも岡田さんは過去に旅券を取得していなかったため、本人確認が困難だったのです」と指摘する。

日中間では犯罪者引き渡し条約が締結されていない。このため、容疑者が母国であるブラジルに移送される可能性がある。

片山氏は「そうならば、自国民の引き渡しを禁ずるブラジルの憲法によって、容疑者を日本で罰することはできません。同

国は日本より刑罰が厳しくないため、微罪で済まされる可能性もあります」と語る。

ブラジルには過去100年で日本から約13万人が移民し、約160万人の日系人が住むという。戦後、日本は日系人を優

遇して入国させてきたが、2008年のリーマン・ショックで彼らに失業者が続出した。日本政府は帰国支援を開始し、「3年間は再入国しないこと」を条件に、本人に30万円、扶養家族に20万

円を給付した。ところが、昨年9月、1年以上の雇用期間のある雇用契約書の写しの提出など、一定条件の下で再入国が許可された。片山氏はいう。

「外国人政策は性善説ではいけません。きちんと働き納税するならともかく、犯罪者は日本の負担になるだけです。今回のような『背乗り』を防止するには、旅券取得の際に本人の写真付きの証明書提出を義務化した

り、将来的には生体認証を導入するなど、厳格な確認方法が必要です」(ジャーナリスト・安積明子)

4Kテレビも売れている
ヨドバシカメラ

「背乗り」で旅券不法取得↓厳格な確認方法必要

片山氏は「旅券申請には、本人確認の書類を提出しなければなりません。本人確認の書類を提出しなくてもいい『抜け道』

が、必ずしも写真を添付しなくてもいい『抜け道』

が、必ずしも写真を添付しなくてもいい『抜け道』

が、必ずしも写真を添付しなくてもいい『抜け道』

が、必ずしも写真を添付しなくてもいい『抜け道』